

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：成人病予防費

事業名 乳がん検診受診率向上事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部保健医療課康推進室がん・受動喫煙対策係

電話番号：058-272-1111 (内 2559)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,224 千円 (前年度予算額：1,224 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,224	612	0	0	0	0	0	0	612
要求額	1,224	612	0	0	0	0	0	0	612
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

乳がんは、女性のがん死亡では最も多いがんであり、治療期間も薬物療法と放射線療法を併用して行うため約10年と長く、心身の負担や経済的負担も大きい。

一方で、がんに関する世論調査(R元年内閣府公表)では、がん検診を受けない理由として「受ける時間がない(28.9%)」、「必要性を感じない(25.0%)」、「がんと診断されることが怖い(9.2%)」、「検査の苦痛に不安(6.8%)」と回答しており、検診への不安やきっかけがないことも課題と言える。

そこで、乳がん検診を体験の機会を設け、検診への不安の払拭と必要性について情報提供していくことが受診率向上につながる。

(2) 事業内容

乳がん検診車によるがん検診を実施し、乳がん検診の普及啓発と、併せてその他のがんの早期発見、生活習慣病の発症予防と重症化予防を行う。

① イベント会場等における乳がん検診車によるがん検診の実施

② がん検診等についての普及啓発

(3) 県負担・補助率の考え方

第3次岐阜県がん対策推進計画に基づき推進される事業であり、県負担が適当である。

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	8	業務旅費
需用費	210	事務消耗品、啓発グッズ作成
役務費	6	電話・郵送料
委託料	1,000	検診啓発委託（岐阜県厚生農業協同組合連合会予定）
合計	1,224	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3次岐阜県がん対策推進計画

(2) 後年度の財政負担

国 1 / 2、県 1 / 2

(3) 事業主体及びその妥当性

実施主体は岐阜県厚生農業協同組合連合会（委託）

デジタルマンモグラフィ撮影装置を2台搭載した検診車を配置しており、イベント等において、より多くの乳がん検診の実施が可能である。また、検診機関としてがん検診の普及啓発活動も積極的に取り組んでいる。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 イベント会場等における乳がん検診車によるがん検診を実施するとともに、がん検診や生活習慣病のための健診について啓発する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H25)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
						達成率
① 乳がん検診受診率 (40～69歳) (国民生活基礎調査)	43.4%	—	—	—	50%	—%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 イベント会場を利用することにより、がん検診を受診したことがない層に対し受診の啓発を行うことができた。 マンモグラフィ装置の見学会では、放射線技師より検査方法や装置の説明を行い、検査に対する不安や、検診車で気軽に精度の高い検診を受けることが可能であることを啓発することができ、定期受診への契機となった。</p>
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	乳がんは、女性のがん死亡では最も多いがんであり、その治療期間も10年と長く、薬物療法と放射線療法を併用して行うため、心身の負担とともに医療費の負担も大きい。がんを早期発見し早期治療することで医療費の負担を軽減し、死亡を減らすことが出来るため必要性が高い。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	イベント会場で実施することで、検診を受診したことの無い層に対し効果的に啓発することができる。
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	岐阜県厚生農業協同組合連合会は、デジタルマンモグラフィ撮影装置を2台*搭載した検診車を配置しており、イベント等において、より多くの乳がん検診の実施が可能である。 (R2年度は新型コロナのため1台のみ稼働)

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 目標値である乳がん検診率50%には達成しておらず、引き続き検診受診率向上に向けた啓発が必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか がんを早期発見し早期治療することで、医療費の負担を軽減し、死亡を減らすことが出来るため、今後も継続実施をしていく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	